



鶏 鳴

2009年10月11日(第29号)

イエスの言葉

『殺すな、姦淫するな、盗むな、偽証するな、父母を敬え、また、隣人を自分のように愛しなさい』

聖書(マタイ福音書19章18節

□19節)

牧師 河合 裕志

ある時、一人の金持の青年がイエスに近寄り質問した。「永遠の命を得るにはどんな善いことをすればよいのでしょうか」。若いのに永遠の命などと口にしてはいる。財産家なのにそれで満足できないのか。永遠の命まで手に入れたいと望むのか。現世と来世にわたる安心立命を得たい、これは今も多くの人の心に宿る願いかも。

イエスはこの問いかけに「掟を守りなさい」と告げここにいくつかの具体的掟を示した。殺すなに始まる五つの掟は旧約聖書に記されている「十戒」からとったもの、隣人を…は、やはり旧約聖書にある教え。イエスはこうした戒めを特に選び、これらの善行に励めば永遠の命、天国が与えられるよ、と明らかにした。

しかし青年はこのイエスの言葉ではなお不満そう。「そういうことはみな守ってきました。まだ何か欠けているのでしょうか」と来た。大変な優等生と言うか、おめでたいと言うか。ホントにホント？ そんなに簡単に守り切れるもの？

果たしてイエスはニッコリと微笑み言った。「もし完全になりたいのなら、行って持ち物売り払い、貧しい人々に施しなさい。

そうすれば天に富を積むことになる」。

これは手荒なことを言ったもの。ショック療法か。青年はみな守ってきましたと豪語したがイエスから見れば事実はどうじゃない。もし君が隣人を自分のように愛しているというのなら、あなたの周りに沢山見られる貧しい人々に何程のことをしたの。よくも自分だけ安楽に贅沢に暮らしているね。それって大きく欠けている点じゃない？

青年はこれにどう反応したか。「この言葉を聞き悲しみながら立ち去った。たくさんの財産を持っていたからである」。貧者に富の施し・愛のわざができず、従い永遠の命を断念せざるを得なかった。ここに彼の悲しみ。それはまたイエスの悲しみ。

どこかの国の首相が友愛、友愛と言っている。この人はすごい大金持らしい。半分位、貧者に施せば説得力は増すというもの。

イエスは今もこれらの掟を行うよう人々に求めている。しかしこの完全な実行は人には難しいことをイエスは承知。だから罪人よ我に来たれ、わが十字架を信じて罪の赦しに与り永遠の命を得よ、掟を守ることはそれからでいいんだよ、と言ってくれている。

集会案内

主日礼拝 : 毎日曜日午前10時15分
 子どもの教会 : 毎日曜日午前9時
 中高校生会 : 毎日曜日礼拝後
 婦人会・壮年会 : 第2日曜日礼拝後
 聖書を学ぶ集い : 第4水曜日午前10時
 オリーブの会(読書会) : 第3月曜日午前10時